

今月の職員さん



たかはし りょう
高橋 諒 職員

最近の出来事

『高校の同級生の結婚式へ行ったこと』

来月の職員さんは いけだ 池田 なの 菜乃 職員です。

◆所属部署・担当業務

経済部 生産資材課 農薬担当。

◆趣味・特技

釣り、洗車。

◆自分はこの人です！

毎日楽しく過ごしています。

◆上司から一言（千葉課長より）

入組から早いもので2年目となり、現在では主に農薬の担当をしてもらっています。農薬は、その年の天候や病害虫発生状況等、外部的な環境に大きく左右され、組合員さんとの情報交換、生産現場の状況把握が重要となってきます。

お互い新人ではありますが、直向に努力する高橋なら大丈夫だと思いますので、生産資材課のメンバーとして共にがんばりましょう。

今月のメニュー 手まり寿司



協力：JA女性部料理研究会

バック売りの刺身の盛り合わせを無駄なく使える、アイデアお寿司です。

主な材料（4人分）

- ・さしみ盛り合わせ 1パック（16切れ程度）
- ・米 2合
- ・昆布 3cm角2枚
- ・酒 大さじ1
- 合わせ酢
 - ┌ 酢 60cc
 - ├ 砂糖 大さじ2
 - └ 塩 少々
- ・甘酢しょうが 30g
- ・しそ葉 8枚
- ・しょう油 適量
- ・わさび 適量

作り方

①米はといで酒と昆布を入れて普通に炊飯します。炊き上がったら昆布を取り出し合わせ酢で味をつけ、16～20等分（刺身の数を合わせる）にします。

- ②手にラップをのせ、さしみ、わさび、しそ葉、すし飯の順に重ね、ラップの端をしっかり絞って丸く形を整えます。
- ③ラップをはずし、皿に盛り甘酢しょうがを添えます。

十勝 Tokachi Shimizu 清水

最高のぜいたく、育てています。



Tokachi Shimizu

2017年
年末年始合併号
298号

年頭にあたり

- 02. すこやかファミリー
西清水 村上 博昭さんファミリー
- 03. 2017年 年頭にあたり
代表理事組合長 申田雅樹
- 04. 平成29年の年頭にあたり
北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章
- 09. トピックス
- 14. クロスワードパズル
- 15. 北海道清水高等学校の生徒考案
『十勝若牛・牛すじサンド』満寿屋パン麦音店
にて限定販売!
- 16. 今月の職員さん
今月のメニュー

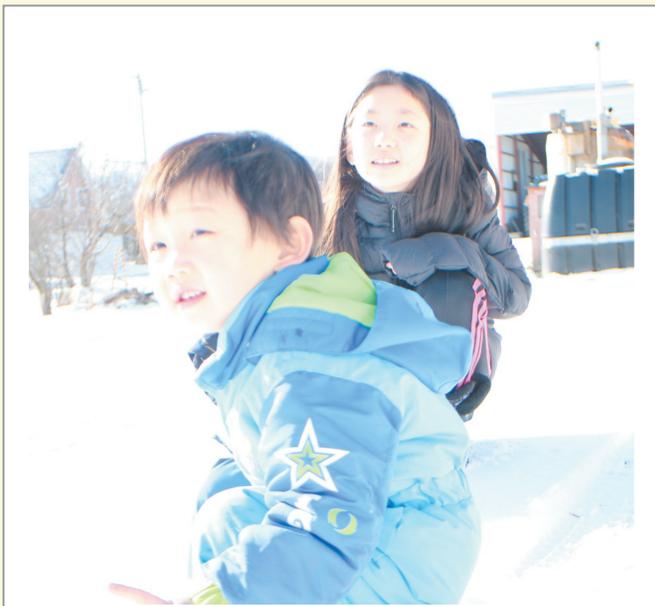


Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合

すこやかファミリー



西清水
村上 敦紀 くん (2才11ヶ月)

最近、11歳はなれたお兄ちゃんが読まなくなった『ココロコミック』を5冊も持ち歩いて、コタツやふとんに入っ
てはパラパラとめくっている敦紀くん。
『『ちゃあ』を読むお姉ちゃんの真似なの
か、とても微笑ましく感じました』とお
母さんの亜樹子さんが嬉しそうに話して
くれました。

亜樹子さんに子育てについて伺ったと
ころ「出産後3週間で仕事に復帰し、そ
のときから朝夕の仕事中はお兄ちゃん
とお姉ちゃんに面倒をみてもらっている
ので、2人の子守りのワザはプロ級です。
感謝・感謝です」と教えてくれました。

～お母さんからのメッセージ～

わが家のムードメーカーの敦紀君!
これからもたくさん泣いて笑って
元気モリモリ 成長してね。

おとうさん
おかあさん
おにいちゃん
おねえちゃん
おじいちゃん
おばあちゃん

村上 博昭さん
亜樹子さん
蒼汰さん
満里奈さん
勇治さん
静代さん

健康百科

『乳がんの早期発見と治療』

佐久総合病院名誉院長 松島 松翠

乳がんは、肺がんや食道がん
など他のがんに比べると進行が
比較的遅い場合が多く、早期の
うちに発見できれば治る可能性
が高いがんです。そのため診察
や検査をきちんと受けることが、
まずは大切です。

医師にかかるとまず第1に
「視触診」が行われます。これ
は、しこりの有無、しこりがあ
れば、その位置、大きさ、数な
どを調べます。また脇の下のリ
ンパ節が腫れていないか、乳頭
からの分泌物がないかどうかを
調べます。

第2は「マンモグラフィー」
という検査です。乳房のX線検
査です。乳房を上下、左右から
挟んで平らにし、エックス線撮
影を行います。がんは白く写り
ます。ただし、乳腺も白く写る
ため、乳腺の豊富な若い女性の
乳房では、がんが正常な乳腺に
隠れて見えないこともあります。

第3は、超音波を利用した
「画像検査」です。乳腺は白く、
がんは黒く映し出されます。若
い女性では放射線の被ばくを受
けないので、適した検査といえ

るでしょう。

第2、第3の方法は、集団検
診でもよく使われている方法
ですが、さらにがんの広がりや
転移などの有無を調べるために、
CTやMRIなどの検査も行わ
れます。

治療としては、第1には「手
術療法」があります。それ
も部分的に切除する「乳房温存
術」と、乳房を全て切除する
「乳房切除術」とがあります。
それぞれの病状と患者さんの希
望によって異なります。

その他、乳がんの術後の薬物
療法として、ホルモン療法、分
子標的療法、化学療法の三つが
あります。乳がん再発予防が目
的ですが、最近出た新しい薬も
ありますので、医師とよく相談
してから、使
つてく
ださい。





2017年 年頭にあたり 代表理事組合長 串田 雅樹

組合員の皆様、明けましておめでとうございませう。輝かしい希望に満ちた新春をご家族とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。昨年は、春先からの長雨による天候不順と8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風、そして中でも台風10号による河川の氾濫、農地の流失など甚大な農業被害が発生し本町に特に大きな傷跡を残しました。組合員の皆様には、収穫作業のさなかに災害の復旧復興と大きなご苦労とご努力をおかけし、その中で農協事業、農協運営に際しまして格別なご理解とご協力を賜りましたことに心より深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の強風によりてん菜、豆類で廃耕に至るほどの被害が発生し、その後、6月中旬以降の低温が小麦の受粉障害を引き起こし、8月中々下旬の度重なる台風来襲では、平年の4倍強となる約600mmの大雨によりてん菜、馬鈴薯、豆類など作物全般で被害が発生し、畑作経営では近年になく厳しい年となりました。

小麦につきましては、融雪後の生育は順調でしたが、受粉時期が低温で経過したため不稔が発生し、更に、成熟期

以降の降雨により穂発芽が発生したため、きたほなみ、ゆめちからの製品単収は、豊作年であった一昨年の3〜4割程度となり品質は2等Cランクとなりました。てん菜につきましては、春先の強風により直播圃場を中心に甚大な被害が発生し、8月中旬以降の台風による大雨により湿害が多発し、単収4.7t糖分16.3%と近年になく低い生産が見込まれています。馬鈴薯につきましては6月中旬以降の低温、多雨による生育停滞や8月中旬以降の大雨により塊茎肥大は不良となり、でん原用、加工用ともに平年を大きく下回る生産実績となりました。特に加工用については、湿害による塊茎腐敗が多く前年の70%程度の集荷量となりました。豆類につきましては、6月中旬以降の低温・多雨による生育停滞や8月中旬以降の大雨により、金時、手亡、小豆、大豆ともに平年を大きく下回る単収となり、品質面でも、金時では、色流れや腐敗粒の発生が甚だしく、手亡、小豆についても雨害粒による品質不良となりました。野菜の主要品目につきましては、アスパラは霜害および風害の影響により、生産量は前年の88%となりましたが、販売環境に恵まれ

生産高は前年を上回りました。にんにくについては、前年秋の気温が低かったこと、6月の低温および降雨による病害発生により小玉傾向となりました。ブロッコリー、白菜については、湿害や軟腐病発生などにより生産量および生産高は前年を下回りましたが、いずれも生産高1億円を維持することができました。

酪農につきましては、昨年の乳価は1^{*}約1.4円の値上がりに加えて、個体価格は依然高値で順調に推移していましたが、6〜7月の天候不順と日照不足により一番草の生育と収穫が大幅に遅れ、品質の低下となり、8月の台風豪雨の被害により2番草およびデントコーンの生育不良と収穫遅延、倒伏被害等により粗飼料の品質低下と量の確保ができず、更には台風豪雨による停電と営農水の長期間の断水という、かつてない大きな災害の影響をうける年となりました。このような厳しい中、本町の生乳生産量が、12万トンを突破することができまことは、酪農家の皆様のご努力のおかげであると感謝いたします。

農協事業におきましては、これまで地域農業振興計画とJ A経営計画が、それぞれ分かれておりましたが、農協内でプロジェクトチームを立ち上げ、実績の確認と検証を重ね、組合員の意向調査やヒアリングをもとに現状分析を行い、今後5カ年の地域農業振興の目的と使命を組合員・消費者から地域農業や地

域社会、J Aとして地域農業・ビジョンを示し、重要課題への取組を明確にし、新たに地域農業振興J A中期5カ年計画と統一してスタートいたしました。その初年度にこのような大きな災害にみまわれ、今後は災害復旧につきましても長期的な視野で重要課題として位置づけ取組んでまいりたいと思っております。

また、農業、農協を取巻く環境は、突然の全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取りまとめ、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど先行き不透明な情勢の一年でもありました。

本年は、昨年の災害復旧に全力で取り組むとともに、災害に負けない強靱な体制作りと地域農業の更なる発展に向けて組合員の皆様のご期待に応え、営農と生活に貢献し信頼されるJ Aの使命を果たすべく、役員一丸となり業務を推進する所存であります。

本年こそは天候に恵まれ、大きな災害もなく、組合員の皆様が農作業に安全で、ご家族がご健勝で豊稔の秋を迎えることができ、清水町農業が災害に負けることなく、更なる発展と成長を目指すすばらしい一年となりますようご祈念申し上げます。



平成29年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものとともに、よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところ です。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を 持つて営農と生活が続けられる環

境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農

業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところで す。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、

その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに對する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたる先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるよう努力して参ります。

結びになりますが、今年の干支は丁酉(ひのと)です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことでもあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。

新年明けまして
おめでとうございます
今年もどうぞよろしく
お願いいたします
(敬称略・順不同)

代表理事組合長 津田 雅樹
専務理事 氷見 隆雄
常務理事 秋野 勝由
特認理事 赤間 富秋
特認理事 光井 龍雄
理事 鈴木 栄
理事 松原 秀雄
理事 金子 達也
理事 富田 春市
理事 高橋 雅典
理事 山田 光一
理事 丸山 善人
代表監事 山本喜久男
監事 丞井 正司
常勤監事 宮崎 正則
参事 岡田 繁
職員一同

(地区営農集団)

上清水地域振興会 会長 吉野 進
字清水協議会 会長 大竹 広美
下佐幌地域推進協議会 会長 森 一広
下人舞地域振興会 会長 深沼 達生
人舞地域振興会 会長 名須川誓詞
北熊牛連合会 会長 大槻 悟
熊牛地域連合会 会長 鳥羽 昌勝
松沢連合会 会長 上野 孝典
美蔓地区連合会 会長 西川 徳男
御影地域連合会 会長 安田 董
羽帯地域連絡協議会 会長 河西 直行
上羽帯地区推進協議会 会長 沼山 隆雄
旭山地域振興協議会 会長 富田 春市

(生産組織)

農業機械部会 会長 松尾 肇
酪農部会 会長 村上 博昭
農産部会 会長 喜多 悟
(酪農・畜産)
養豚振興会 会長 與秋 紀克
清水町ホルスタインクラブ 会長 大久保大輔
肉牛振興会 会長 佐藤 栄三
十勝若牛生産組合 組合長 吉田 哲郎
清水町ジュニアホルスタインクラブ 会長 大槻 悟
(農産・野菜)
下佐幌りん菜育苗センター 利用組合 組合長 千葉 道幸
御影りん菜育苗センター利用組合 組合長 口田 靖明

美蔓りん菜育苗センター利用組合

組合長 那須野裕一
清水町種子馬鈴薯採種組合 組合長 須田 巧
清水町豆類種子生産組合 組合長 塚川 寛
清水町秋播小麦採種組合 組合長 森 一広
清水町馬鈴薯生産組合 組合長 那須野裕一
清水町蔬菜振興会 会長 吉野 進
十勝クリーン大豆生産組合 組合長 佐藤 博志
(一般)
清水町農民連盟 委員長 中村 勝則
清水町農村連盟 委員長 桜井 清
ホクレン原料所 所長 桑原 尚俊
JA十勝清水町青年部 部長 野々村 拓
JA十勝清水町女性部 部長 表 由美子
ほか役員一同

今回の災害に際しまして、義援金・支援物資を 戴いた方々をご報告いたします。

(順不同)

事業所名／個人名
丸果旭川青果卸売市場株式会社 代表取締役社長 辻 利朗 様
ケンコー・マヨネーズ株式会社 代表取締役社長 炭井 孝志 様
帯広地方卸売市場株式会社 代表取締役社長 山室 俊晴 様
株式会社ワタリ 札幌営業所 様
株式会社虎屋 代表取締役社長 黒川 光博 様
丸果札幌青果株式会社 代表取締役社長 勇崎 恒宏 様
北海道運搬機株式会社 帯広支店 様
丸一苫小牧中央青果株式会社 代表取締役 島 忠義 様
有限会社アイ・エス・オー 代表取締役 磯目 英紀 様
株式会社トミイチ 代表取締役 富宅 俊一 様
東一函館青果株式会社 代表取締役 木戸浦 静男 様
有限会社彩路季 代表取締役 竹内 由益 様
岩谷産業株式会社 様
旭川計量機株式会社 代表取締役社長 茶木 拓治 様
株式会社フジネット 代表取締役社長 山本 喜章 様
株式会社マツダ樹生園 様
株式会社羽根 代表取締役社長 奥村 隆美 様
丸果帯広中央青果株式会社 代表取締役 内藤 龍信 様
株式会社滑川商店 代表取締役社長 滑川 尊久 様
松屋商事株式会社 代表取締役 中林 正明 様
株式会社アース技研 代表取締役 佐藤 隆司 様
有限会社シェパード 代表取締役 松本 大策 様
北海道オリオン株式会社 十勝支店 様
ヤスダファインテ株式会社 十勝めむろ営業所 様
株式会社タカキタ 帯広営業所 様
株式会社コハタ帯広営業所 所長 喜多 徳保 様
丸和バイオケミカル株式会社 札幌営業所 様

事業所名／個人名
清水町 様
J A北海道中央会 帯広支所 支所長 植田 尚典 様
J A北海道信連 帯広支所 支所長 吉原 裕貴 様
ホクレン農業協同組合連合会帯広支所 支所長 猪股 透 様
J A北海道厚生連 帯広厚生病院 院長 菊池 英明 様
全国共済連 北海道本部 帯広支所 支所長 澤田 直志 様
全国酪農業協同組合連合会 札幌支所 様
北海道チクレン農業協同組合連合会 代表理事理事長 貞廣 修 様
日本農業新聞北海道支所 支所長 吉田 聡 様
財)北海道農業公社 十勝支所 支所長 浅見 定義 様
ホクレン帯広生活総合事業所 事業所長 河原 伸成 様
全国共済連北海道本部帯広自動車損害調査サービスセンター センター長 村椿 伸宏 様
札幌ホクレン青果株式会社 代表取締役社長 高橋 守 様
ホクレン肥料株式会社 代表取締役社長 松村 満 様
ホクレン肥料株式会社帯広工場 取締役工場長 川村 文男 様
全酪フーズ株式会社 様
大樹町農業協同組合 代表理事組合長 坂井 正喜 様
上士幌町農業協同組合 代表理事組合長 小椋 茂敏 様
釧路丹頂農業協同組合 代表理事組合長 武藤 清隆 様
新砂川農業協同組合 代表理事組合長 杉本 修 様
余市町農業協同組合 代表理事組合長 新藤 修 様
函館市亀田農業協同組合 代表理事組合長 柴谷 廣道 様
三島函南農業協同組合 代表理事組合長 柿島 直人 様
三島函南農業協同組合 酪農部会 様
全酪連札幌支所 帯広事務所 事務所長 須藤 大吾 様
株式会社明治十勝工場 工場長 広崎 信幸 様
小柳協同株式会社 帯広営業所 所長 小林 秀勝 様

事業所名／個人名
雪印メグミルク株式会社 大樹工場 工場長 橋本 定典 様
株式会社十勝くみあい農機事業センター 社長 西岡 悦夫 様
MPアグロ株式会社 帯広支店 様
三晃化学株式会社 様
株式会社コハタ 取締役社長 木幡 光範 様
宮本機械株式会社 様
北海道セイカン工業株式会社 帯広支店 様
有限会社オクヤマ 代表取締役 奥山 崇 様
北興化学工業株式会社 札幌支店 様
シンジェンタジャパン株式会社 北海道営業部 様
クミアイ化学工業株式会社 札幌支店 支店長 豊島 和裕 様
株式会社丸勝 代表取締役 梶原 雅仁 様
小野田化学工業株式会社 札幌支店 様
日本曹達株式会社 札幌営業所 様
ダウ・ケミカル日本株式会社 札幌支店 様
王子木材緑化株式会社 北海道支店 様
BASFジャパン株式会社 北海道営業所 様
株式会社 トミイチ 十勝支店 様
帯広スズキ株式会社 代表取締役 原田 照久 様
熱原帯広株式会社 代表取締役社長 原田 照久 様
帝北自動車株式会社 代表取締役 河原 哲也 様
千代田デンソー株式会社 代表取締役社長 横川 真和 様
株式会社ヨコハマタイヤ 帯広営業所 様
ホクサン株式会社 代表取締役社長 氏家 薫 様
オールジャパンリーダーズサービス株式会社 代表取締役 高橋 忠司 様
佐藤 鉄也 様
高岡 尚行 真紀子 様
大山 多恵 (旧姓 佐伯) 様

事業所名／個人名
株式会社十勝家畜人工授精所 代表取締役 吉川 広司 様
(株)ノーサンサービス 代表取締役 小池 秀幸 様
ライフフーズ株式会社 代表取締役社長 矢野 良一 様
株式会社ワタリ 代表取締役社長 渡利 圭太 様
北海道森紙業株式会社 帯広工場 様
横山製粉(株) 代表取締役 横山 敏章 様
兼松ソイテック(株) 代表取締役 濱田 慎一 様
(有)トータル 代表取締役 松頭 和弘 様
河原青果(株) 代表取締役社長 河原 哲雄 様
河原 哲雄 様
(株)北星農産 代表取締役 沼田 利幸 様
株式会社モリタン 代表取締役社長 平井 章裕 様
株式会社ポテトデリカ 代表取締役社長 池袋 節夫 様
札幌定温運輸株式会社 帯広営業所 様
士別運送(株) 代表取締役社長 西本 護 様
(株)サン格林太陽園 代表取締役社長 北濱 宏一 様
小柳協同株式会社 代表取締役社長 渡邊 康了 様
ミドリ安全北海道株式会社 帯広営業所 様
株式会社ハイパーネット 代表取締役 太田 順一 様
株式会社アシストワン 代表取締役 深川 政和 様
まんまる 石井 さゆり 様
水戸農業高等学校 北海道実習一同 様
株式会社十勝毎日新聞社 代表取締役社長 林 浩史 様
株式会社グロッシー 代表取締役 北村 貴 様
北海道グローリー株式会社帯広営業所 所長 福田 圭祐 様
篠原産業株式会社 様
有限会社船戸雑穀 代表取締役 船戸 勝 様
大日本印刷株式会社北海道営業本部 帯広営業所 所長 土山 英之 様

清水町地域農業再生協議会のホームページ

「十勝清水町 牧場・農場求人情報」の掲載について(募集)

清水町地域再生協議会のホームページに掲載されている「十勝清水町 牧場・農場求人情報」について、次のとおり原稿を募集いたします。

1. 掲載の主な内容・提出するもの

業務内容や給与などを別紙に記載して提出してください。農場の様子がわかる写真を2枚添付してください。

2. 掲載の体裁（見た目）について

各農場の体裁は協議会が定めたものとします。

3. 掲載後の対応

ホームページ閲覧者からの問い合わせは、「お問い合わせ」に記載されたところに直接届きますので、掲載者が対応してください。

4. 掲載の制限と期間

申し込みの新しい順に上から並べます。掲載が1年を過ぎたものは削除しますので、改めてお申し込みください。利用料は無料です。受付は随時行いますが、掲載まで多少時間がかかります。採用などにより掲載が不要になった場合は早急にJA十勝清水町、または清水町地域農業再生協議会にご連絡ください。

5. 掲載場所

清水町地域再生協議会のホームページに掲載します。

<http://www.ninaite432.jp/>

6. 掲載の申し込み方法と問い合わせについて

○申し込み先-----清水町地域農業再生協議会(清水町役場農林課内)
JA十勝清水町の経営指導課、畜産部、農産部

○ホームページに関する問い合わせ----清水町地域農業再生協議会(清水町役場農林課内)

電 話 0 1 5 6 - 6 2 - 2 1 1 2

携 帯 0 9 0 - 6 2 1 8 - 7 4 7 0

F A X 0 1 5 6 - 6 2 - 1 6 1 5

m a i l ninaite432@outlook.jp



作業は順調に進んでいきます

JA青年部

みんなで作ろう！
クリーンな農業

JA青年部（野々村 拓部長）では、11月16日、17日に農薬の空容器と空袋の回収協力を行い、2日間で部員24名が参加しました。これは、農薬の空容器と空袋の適正処理による農薬事故防止と、環境に対する農業からの負担を軽減することを目的に、青年部が農協事業への一環として行っているものです。

9年前より、洗浄済みポリ容器の処理経費はJAが負担、未洗浄・ラミネート袋などは持ち込んだ組合員に216円/kgを負担いただくことになっております。青年部としては、収集場所での洗浄・未洗浄確認、分別、計量の協力とし、各支部にて日程を振り分けて協力いたしました。

確認作業では、組合員の皆様の協力もあり、スムーズな回収作業となりました。今後、農薬の使用後は3回以上の洗浄を徹底していただき、分別し回収時に出す手間を省くなど、安全な回収に組合員の皆様のご協力をお願い致します。

9年前より、洗浄済みポリ容器の処理経費はJAが負担、未洗浄・ラミネート袋などは持ち込んだ組合員に216円/kgを負担いただくことになっております。青年部としては、収集場所での洗浄・未洗浄確認、分別、計量の協力とし、各支部にて日程を振り分けて協力いたしました。

農業者年金説明会

年金の理解と疑問を解消

11月21日、14時より農業者年金制度についてより理解を深め、日頃の疑問を解消していただくことを目的とした「農業者年金説明会」が本所2階大会議室にて開催



講師の話に耳を傾ける参加者

されました。説明会には、年金受給を控えている方々を中心に13名が参加されました。

講師には北海道農業会議の幡野氏をお招きし、旧制度の経営移譲年金（加算付年金）を受給するための注意点を中心に、新制度の内容、加入方法や制度の仕組みについて詳しく説明が行われました。

現在の農業者年金は、経営主の方だけではなく、配偶者や後継者、その配偶者の方など、国民年金の第1号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の方はどうしても加入できます。加入を検討されている方は、JA経営指導課（62-2163）まで是非ご相談ください。

12月号は

ダブル
W
付録

わたしノート&
(家の光エンディングノート)
家計簿記帳で

ハッピー
マイライフ

12月号・1月号
購読申し込み
受付中



J A 女性部

清水高校で食品実習
『フランスパン・ソーセージ・スイーツ作り』に挑戦

平成24年度から、北海道清水高等学校の協力により始まった食品実習は、当JA女性部員が地元の高校生と交流しながら、食品加工について学ぶことを目的に行われています。

今年度は全部で3回の実習が行われましたので、各回の様子をご紹介します。

・11月25日・・・『フランスパン&ベーコン』旭山支部4名と人舞支部5名と熊牛・本村から3名参加。

最初はフランスパン作りです。「モルトって何？。お店に売ってるの？」と部員からの質問があり「モルトとは麦芽糖です。お店には売っていないと思います。麦芽の水あめでも代用できます」との先生の回答に「へえ〜。そうなんだ」とメモを取る姿が見られました。



生徒の方が優しく丁寧に教えてくれます

また、手に生地がくっつき、生徒が代わって生地をこねる姿を見ると「なんで？手に生地がつかないの？」と感心の声があがりました。

パンの発酵の間にベーコン作りです。豚ブロックにまんべんなく砂糖をすり込みます。次は塩・コショウをすり込み真空パックへ。出来上がりには1週間かかります。後の作業は生徒におまかせしました。

昼食には焼きあがったフランスパンにレタス、トマト、ベーコンをはさんでいただきました。「美



出来上がったソーセージと1枚

味しい！」と部員大絶賛。最後に焼きあがったフランスパンと生徒が考案し、パン甲子園2016で準グランプリを獲得した、満寿屋パン『麦音店』で販売される『十勝若牛・牛すじサンド』をお土産に頂き、食品実習は終了しました。

・11月28日・・・『ソーセージ&ベーコンづくり』字清水支部6名とフリー支部から2名参加。

ソーセージ作りは、豚肉をカットするところから始まりました。豚肉はミートチョッパーに入れて

挽肉にした後、サイレントカッターに入れ、氷と一緒に練り合わせます。氷が見えなくなったら調味料を加え、粘りが出てきたら結着補強剤を入れ、腸に詰める用の肉の完成。出来上がった肉をスタッファー（充填機）に叩きつけるように入れ、ケーシング（羊腸）に詰めていきます。

「おーすごい！」という歓声があがる中、どんどん羊腸に肉が詰められ、部員のテンションも上がります。その後、先生から「長さが10センチ程度になるようにひねって下さい」との説明があり、さっそく部員も挑戦。ねじったソーセージが元に戻ったり、ケーシングが破れたり苦戦している様子がみられました。

腸詰が終わったらスモークハウスに入れ、15分間の乾燥・30分間の燻煙・約20分間の湯煮をするので、その間にベーコンの仕込みを行いました。

湯煮の工程では、大きなゴム手袋をはめてソーセージの中心温度が75℃以上か確認する作業も行い、ついにソーセージが完成。ソーセージをハサミで切り離し、重さを量って真空パックしました。最後にできたてのソーセージを



『くるくる』とドーナツの形が出来上がっていきます

生徒が作ってくれたパンにはさみ、ホットドッグにして食べました。「おいしかったし、楽しかったね」と話しながらみんなで記念撮影をし、食品実習を終えました。

・11月29日・・・『スイーツ講習会』御影支部7名参加。

ガトーショコラ作りからスタート。デモとして生徒が部員の前で作っていきます。「バターは無塩がいいんだよね?」「常温に出しておいた方がいいの?」と生徒に質問をする姿が見られました。生



②



①



③

出来上がったフランスパン①とソーセージ②とガトーショコラ③

徒が型に生地を流し込んだら、次は自分たちで作る番です。「こんな感じでいいの?」「砂糖半分だよ?」と生徒に聞きながらガトーショコラを作っていきます。

ガトーショコラを焼いている間に3班に分かれて『スイートポテト』『塩キャラメルドーナツ』『フランボワーズムース』を作りました。サツマイモを裏ごししたり、ドーナツの生地を作ったりと順調に作業を進めていきました。出来上がった4品を箱に入れてもらい食品実習は終了しました。



作業台いっぱい大量の食材が並べられています

女性部 加工サークル 五目の具作り体験会を開催

12月2日、JA女性部加工サークル(丸山小百合会長)が女性部員を対象とした『五目の具作り体験会』を開催し、10名(サークル会員8名・体験者2名)が参加しました。

加工サークルの五目の具作りは毎年1回、農閑期に行っており、味は会員から会員へ代々受け継がれるほど好評です。また五目の具は冷凍することが可能なため、保存食としても人気があります。



参加された加工サークルの会員

当日は、朝9時から調理を開始。大量の食材や調味料を9等分にし、テキパキと作業が進みます。1日かけて作った、たくさんの方の五目の具を大きな漬け物樽などに分け合いつつ、「来年もこの分量で作ろうね!」と楽しそうに話し合う会員の姿がとても印象的でした。また、体験会に初めて参加した部員は「材料がとても多いことと、みなさんの作業の速さに驚きました」と1日を振り返りました。

この体験会を通して新しい会員が2名増加。加工サークルにとって実りあるものとなりました。

女性部 臨時総会
規約・規程の
改正について審議

12月6日、JA女性部臨時総会が本人出席71名・委任状の提出70名 計141名の出席を得て開催されました。

開会宣言のあと、表 由美子部長が「本日はお足元の悪い中、たくさんの方にご出席いただき感謝申し上げます。平成5年度より当女性部は、より良い活動ができるよう支部制の形をとり、歴代の部長さんたちをはじめ部員の皆さまのお力添えにより築かれてきました。しかし、現在では支部で女性部活動をお休みされているところが多くなっており、支部制での活動が困難になってきております。今日は1人でも多くの方が女性部活動に参加できるように、またフレッシュユミズ部会の方々が、スムーズに移行できるように規約の改正をしたいと考えておりますので、皆さんの忌憚のないご意見をよろしくお願い致します」とあいさつ。続いて串田雅樹代表理事組合長より「今回の規約改正で女性部組織の改革がされますが、JAとしてもバックアップしていきたいと

考えておりますので、今後ともJAの運営にあたりましてご協力をお願い致します」とあいさつがありました。

その後、議長の選任が行われ、字清水支部の玉井美和さん、御影支部の大石伊津子さんが選ばれ『規約の改正』と『規程の改正』について審議されました。

参加された部員から「今まで女性部活動に参加されていなかった方たちを呼ぶ方法として何かお考えはありますか?」「川西・川東・御影地区の部員の人数は、大体同じとのことでしたが、むらさき会やフレッシュ部会が含まれてい



規約・規定について審議する女性部員

ますか?」など、今後の活動や役員の選出方法に関する質問が多数ありました。役員は一つひとつの質問に対して丁寧な回答され、提出した議案については原案通り承認されました。

JA女性部むらさき会

第2回研修会

「お花」と「女性部まつりアトラクション」練習行う

JA十勝清水町女性部むらさき会(伊藤一子会長)は11月22日に第2回研修会を開き会員19名が参加しました。

午前中はオアシスを使った『お花』の研修会です。むらさき会の中では、すっかり定番となったこの研修会は会員には大人気です。毎年、講師として来ていただいている平野真実さんに今年も優しく、丁寧な指導を受け、ピンク、オレンジ等色とりどりのお花を生けていきます。お花を生けている最中は終始楽しそうな雰囲気。



「カラーで載せてほしい」と言われるほど見事な作品ができました

「わからなくなったから、他の人の見てみよう」「この花少し高いかな?先生に聞いてみよう」「この花はどがいいかな?」と会話も弾みます。また、「先生どうですか?」と積極的に質問する姿も見られました。お花を生け終わると出来上がった作品を見て会員同士「素敵にできたね」「オレンジの花もきれいだね」と会話が聞こえ、出来栄に満足の様子でした。作品と記念撮影をして、午前中の研修会は終



女性部まつりに向けて練習を重ねていきます

了しました。
午後からは、2月7日に開催される女性部まつりのアトラクション練習を行いました。役員がお手本を見せてから、会員と動きを合わせていきました。「ここは早い方が良いんじゃない?」「どっちからやるの?右?左?」と役員と会員が話し合いアトラクションの形がまとまってきました。
参加された会員は、『お花』と『アトラクション練習』でリフレッシュすることができた1日となったようです。



議案に目を通す組合員

11月29日〜12月1日の3日間、JA地域別懇談会が10ヶ所の会場で開催されました。
議題としては、台風10号の被害状況、28年度災害に係る特別対策の支出、28年産小麦概算金など8項目について説明を致しました。
JAからの説明後、組合員からの意見を求め、「施設等の被害状況は分かったが、作物の被害状況

地域別懇談会

組合員と懇談

そよかぜの会

は?」「色々な事業があがってきているが、もう少し期日がほしい」などの意見に対して説明を行い理解を深めて頂きました。

「ふまねつと体験講座」

JA十勝清水町そよかぜの会(山本京子会長)は12月2日に「ふまねつと体験講座」を開き、生憎天候が悪く会員7名の参加となりました。

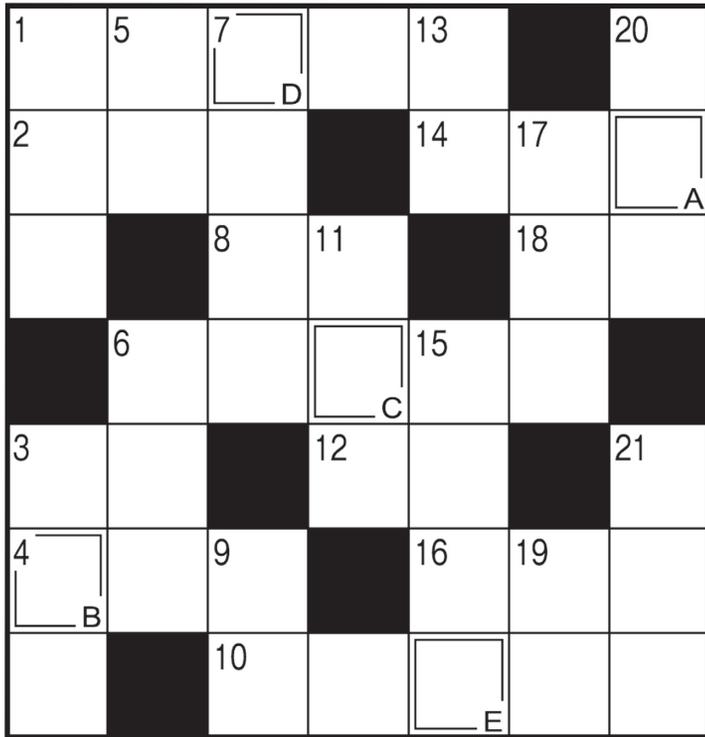
「ふまねつと」とは、正方形の網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動で、筋力向上を目指す従来型の運動プログラムではなく、体の動きに注意を集中させて、全身のバランスや認知機能を向上させることを重視とした「運動学習」プログラムです。講師にはふまねつとサポーターズ清水 鷹野治保さんにお越し頂きました。
初めは足だけに意識を集中させて、右足から網を踏まないように掛け声に合わせて1歩ずつ歩くことからスタート。鷹野さんは



歌に合わせて、右・左と進んでいきます

「ゆっくりやるのが大事です。右、左と考えていると脳が活発になりなります」と話されました。
足を動かしながら手をたいたたり、斜めに動いたり様々な動きをしていくと「手を動かすと足踏み忘れる」「間違えた!」との声が聞こえてきました。
「もしもしカメよ」や「ぶんぶんぶん」の童話に合わせてステップを行ったり、斜めに歩くスラロームを行ったりして「ふまねつと体験講座」は終了しました。
参加した会員からは「楽しかった!」との声が聞こえ楽しい時間が過ぎることができたようです。

クロスワードパズル



クイズの答えを解答用紙に記入し、ファックスするか直接JAにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。ご応募お待ちしております。(締切1月31日)

11月号 (No.297) の答え

A B C D E

サツマイモ



→ ヨコのカギ

- ① 子どもが楽しみにしている正月の臨時収入
- ② 昆布と——節でだしを取った
- ③ 親子や兄弟でそっくりな人も
- ④ 正月に付きものの汁物
- ⑥ 笑うと負けよ、あっぷっぷ
- ⑧ がっかりしたときに落とします
- ⑩ タイヤにつないでシュッシュ
- ⑫ ボーダーやストライプ
- ⑭ 落ち葉をかき集める道具
- ⑯ ノルウェーの画家、ムンクの代表的作品
- ⑱ 忍者が指を組んで結ぶもの

↓ タテのカギ

- ① ひょっとことよく対にされます
- ③ 英語でいうとファミリー
- ⑤ 凹がオウなら凸は
- ⑥ 金剛力士のこと。あうんで一對
- ⑦ このわたや酒盗もこの一種
- ⑨ 大豆は畑の——といわれます
- ⑪ 物は——と新製品を買ってみた
- ⑬ 牛乳を温めると表面にできます
- ⑮ 足の末端のこと
- ⑰ 京都・祇園の宴席に花を添えます
- ⑲ 一年の——は元旦にあり
- ⑳ ダイコンや練り物、ゆで卵などをだしで煮込んだ料理
- ㉑ 正座をされていて切れることも

11月号 (No.297) あたまの体操当選者発表

当選者は 石山 村上 泰公さん 北熊牛1 橋本 杏奈さん
 中熊牛1 松井 汰月さん 中美蔓2 氷見 陽斗さん
 柏 木 田宮トモ子さん

おめでとうございます。

11月27日、満寿屋パン 麦音店にて『十勝若牛・牛すじサンド』が1日限定で販売されました。
このパンは、北海道清水高等学校の生徒さんが考案し、去る10月2日に岩見沢市で開催された『パン甲子園2016』で準グランプリを受賞したものです。今回の商品化は、パン甲子園の審査員の1人である天方慎治 満寿屋商店製



清水高校の生徒さん、元気に笑顔で販売していました

造管理部長が同校へ申し入れたことにより実現しました。
当日はこのパンを考案した清水高校の生徒さん3名が、満寿屋パン 麦音店の店内にて笑顔で接客。1個450円で200個限定の商品は、完売するほど好評でした。
なお、今後この商品は『麦音店』で月一回のレギュラー商品となることが決定しました。毎月、



圧力鍋でじっくりと煮込まれた十勝若牛のすね肉が、ホエーやとち野酵母・ガーリックパウダーを使用したこだわりのパン生地サンドされています

最終日曜日『麦音の日』に購入することが可能ですので、機会がありましたらぜひご賞味ください。

※商品は11時からの販売で、数量は50個限定となっておりますのでご注意ください。また、お渡しは11時以降のとなりますが、ご予約も可能とのことです。

商品に関する詳しい内容につきましては、左記までお問い合わせをお願い致します。

満寿屋パン 麦音店

帯広市稲田町南8線西16-43

TEL: 0155-67-4659

ちょっと
拝見します

北海道清水高等学校の生徒考案
『十勝若牛・牛すじサンド』
満寿屋パン麦音店にて限定販売!
～月1回のレギュラー商品化へ～